

2-P-14 母音 2 モーラ語に対するパラ言語情報の 認識における F0 の影響

Influence of F0 on Paralinguistic Information Recognition
for 2 Morae Vowel Words

藤原路浩(島根大学・総合理工), ○小林聡(島根大・総情セ)

- ◆ 「ああ」という母音 2 モーラ語において、声の高さやその変化から、人間がどのようなパラ言語情報を受け取るのかを調べるため、合成音声を作成し、聴取実験を行なった。
- ◆ 実験結果より、基本周波数 (F0) の変化率と、F0 の平均を用い、28 個の印象語について印象の受け取りやすさを調べ、下記の 6 つのグループに分類することが出来た。
- ◆ また、先行研究による「ええ」という 2 モーラ語との比較により、語彙が異なると受け取られる印象の傾向や程度が異なることが明らかになった。

	印象語	F0 の変化率	F0 の平均		評価
			変化率が負	変化率が正	
1	「驚き」, 「感心」, 「好意」, 「高揚」, 「満足」, 「喜び」, 「強調」, 「自信あり」	正	—	高	中～高
2	「悲しみ」, 「無関心」, 「不満」, 「落胆」, 「冷静」, 「軽蔑」, 「嫌悪」, 「不安」, 「自信なし」	負	低	—	中～高
3	「信頼」, 「肯定」	—	高	高	低～中
4	「苛立ち」	—	低	低	中
5	「安堵」, 「中立」	—	高	—	低
6	「恐れ」, 「慎み」, 「怒り」, 「疑問」, 「同情」, 「相槌」	—	—	—	—